

会報

拡大教科書普及のための調査・研究

代表世話人 土屋 宏

拡大教科書の普及を目的として文部科学省が委託研究しているテーマには、二つの方向が見えています。

一つ目は「拡大教科書の利用者向けサービス」をテーマとしたもので、拡大教科書の利用し易い条件とは何かを探り、学校や教育委員会を対象にその情報やツールを提供する研究調査です。実際に製作されている拡大教科書をサンプル集にまとめ、利用する児童・生徒・学生や関係する学校教職員および教育委員会等からアンケートや直接のヒアリングの形式で各種の調査を実施し、拡大教科書の利用実態と利用者ニーズの調査研究が進められております。これまでにはない深さの調査研究の成果を期待しております。

二つ目「ボランティアや高校等向けのデジタルデータ提供支援」をテーマとして、教科書デジタルデータの提供手続のIT化の試行や各出版社におけるデジタルデータの作成工程の差異と質的レベルとの関係を調査・実施し、より良いデジタルデータの提供の在り方を構築する調査研究です。デジタルデータ提供のシステムは幾つかの課題を抱えており、ボランティアの皆さんは日常的に大変不満に思っています。データ提供システムの実態を直視し、早急に改善の対策が進みますよう調査研究の進展に期待をしております。

特に ボランティア活動としてこれらの調査研究に期待するポイントには次のようなことがあると思われま
1. デジタルデータの管理機構が年間を通して継続的・安定的に運営される環境にはありません。

文部科学省はデジタルデータ管理機構の運営を業務委託の形態で行っております。このため毎年運営先を入札

で決定し、単年度契約になります。皆様のところにも3月2日をもって取り扱い先が変更になる旨の通知が届いたと思えますが年度の途中でデータ提供の運営が変更になります。試行的ではあってもオンラインでの手続が期間中に停止し、手続先も変わりますので結果として手続の変更になります。文部科学省には年間を通して安定的な管理機構の運営を検討していただきたいと思っております。

2. 提供されるデジタルデータは品質が一律では無く、利用方法によつては使用に耐えないデータの場合もあります。この原因はデータ作成の条件に定められた基準がないことによるものです。教科書の出版社はこれまで各社それぞれの方法で教科書を作成し、印刷された教材としての条件を満たせば良かったわけです。しかし デジタルデータとなれば、ある程度統一された一定の質的条件を満たされた技術的基準が必要となります。各社の社内条件のみで作成出来た教科書とは違い、社外で利用される形態で提供されるデジタルデータは社会的に通用する技術的水準が必要となります。

また、この条件はPDFとか、JPEGとかのデータ形態の問題ではなく、拡大教科書を製作するための基礎データとして、加工に供することが可能な性格の内容であり、普通のパソコンで取り扱えるものでなければならぬことです。出版社のご努力に期待したいと思えます。

3. 教科書およびデジタルデータの提供申請手続の様式が不統一であったり、拡大教科書の契約形態が不便であったり、事務の煩雑さを感じられます。拡大教科書を製作するための届出様式や文部科学省との契約手続に関する様式は同じ性格の様式であっても、手続の種別毎に様式が違っているので作成者は煩雑に感じると思っています。各種の様式には記載される項目にそれ程の違いは無く

様式の作成システムを開発されれば、一回の入力で同時に必要な各種様式が完成出来るようになると思われます。どこが担当出来るのか、またシステムで作成した様式がそのまま有効に許可されるのか等の課題がありますが是非実現したいことです。関係機関のご理解が必要になります。

拡大教科書の製作に関連する課題はこれからも起こってきます。私たちの活動は社会の変化と共に変わります。活動の在り方、拡大教科書の製作手法、利用者への対応など、日常の活動の中にも変化が起きております。全国拡大教材製作協議会の活動も皆様の变化と共に変わらねばなりません。標準拡大教科書の発行を機に協議会の活動にも新たな季節が到来していることを感じます。

継続は力なり

豊島区立中央図書館ひかり文庫

拡大写本グループ

代表 山本 裕美子

早いもので、「拡大写本」に出会ってそろそろ二十年という月日がたとうとしています。第二・第四木曜日が活動の基本ですが、拡大教科書を手掛けるようになってから、「納入指示書」の期限に合わせてように毎週木曜日には、中央図書館に集まるのが習慣になっています。年々、少しずつですが、要領もよくなってきたような気がします。こうやって続けていられる先には、会うことのない児童や生徒の顔を想像し、拡大教科書のページを探し、必死に取り組んでいる姿があるからです。少しでも、わかりやすいレイアウトや使いやすい拡大教科書の完成を目指して、知恵を出し合っています。

メンバーそれぞれの環境の中で、やりくりして、拡大教科書との時間を捻出している努力に頭が下がります。あくまでもボランティアですから、ご自身の生活に負担がかからないような会の雰囲気づくりを心がけていますが、変わらぬメンバーでの活動は不可能です。

講習会を不定期ですが開催し、活動できるメンバーを募ります。弱視の方を理解していただくことからスタートし、わりと早い時期から、拡大教科書製作の戦力になっていただいています。とはいえ、メンバーが増え続けるというわけにはいかないので新陳代謝を繰り返し、二十名前後で活動しているのが現状です。

拡大教科書が完成すると、次の年度の依頼を待ちますが、依頼も減少傾向です。しかし、教科書発行社のカバーできない部分は、張り切って対応したいと待機しています。高校の教科書は製作したことはありませんが、是非、挑戦したいと思っています。

いろいろな講習会で他の製作グループの方と出会うことがあります。立ち話程度でも有意義な情報交換ができます。そういう場が設定されることをのぞみます。全国レベルではなく、もう少し範囲を狭めて、交流できることを要望したいですね。そして、微力ながら、変わらぬペースでこれからも、活動していくつもりです。

与えられた場所

綾瀬市拡大写本奉仕会 ほたるの会

外岡 百合子

私は四年前、拡大写本なんて何も知らず、「パソコンの知識が役立つ・身内の中途失明者への接し方も学べるかな？」なんて、軽い気持ちで入会しました。全くの、場違いでした。

写経のように、一文字一文字教科書を書き写していく気の遠くなるような作業、しかも家事の合間に、コソコソと二十年も努力されていると聞き驚きました。まるで、気高い修行僧侶のようだと思いました。

でも、でもですよ、こんな作業セロックスで拡大すれば簡単に作れるのに、何でこんな無駄なことをしているのだらうと、頭の中が???マークでいっぱいにもなりました。そして先輩会員の方にとても失礼な質問をし、文字と空白・図形や説明文のバランスの大

切さを教わりました。

実態が分かったものの、これから私が字の練習をしてペンで文字を書くなんて考えられないことです。これまで、会社でも・実生活でもパソコンでしか文字を書かず過ぎてきた身には、ハードルが高すぎます。「辞めよう」と思ったとき、英語の巻末辞書部分をパソコンで書いて欲しいと頼まれ、これでチョットだけ手書きのできない私でも居る場所が見つかりました。

その後、デジタルデータの提供が進んだり、勉強会があったりでパソコン導入のお手伝いもするようになりました。

手書きの文字には味があるし微調整がきくのも事実です、でもパソコンの手軽さ編集機能の簡単さも捨てがたいものです。両方できたら鬼に金棒、「怖いものなし!」。…に、なりたくてただいま我が会は奮闘中です。

難しい・怖いパソコンを、とにかく触って恐怖心を無くすこと。パソコンには、たくさん機能が有るが、とりあえず教科書を作るにはコピー・貼り付け・削除ができれば、何とかなる。タイピングなんか遅くたっていいの、デジタルデータをコピーすれば良いんだから。

私を含め新しいことが覚えられない頭、悲しいけどみんな同じだから平気・へいき。「ざるは水の中に浸しておけば良い」んですもの。言葉では覚えられなくても、絵では理解できます。ゆっくり何度でも練習して、マスターしようと思っっています。また、会員どうし教え合う事も大事で、教える方も教わる方も、すっごく良い勉強になります。鬼に金棒の「ほたるの会」、誕生が待たれるところで。

今の私の役割は、会のメンバーが楽しくパソコンが使える環境を作ることで、パソコンのメンテナンズです。

最後に、間違つて入会したこの私に「居る場所」を、与えてくださった先輩の方々に感謝しております。

「拡大写本のつどい」への期待

まちだ拡大写本サークル

高井 宣昭

私たちのグループは一昨年九月、町田市で実施された「拡大写本ボランティア養成講座」の修了者10名で活動を開始しました。そして、相模原拡大写本赤十字奉仕団の指導をいただきながら、手書きで教科書体による写本教科書を作成しています。昨年も実施された「養成講座」では、私たちも開催の補助としてお手伝いをさせていただきました。その修了者が今年、新入会員として加入し、総勢20名の大所帯となりました。

昨年は「図画工作3・4年下」(開隆堂)と「小学5年音楽」(教育芸術社)を製作し、利用者に送り届けることができました。現在は「新しい社会公民」(東京書籍)に取り組んでいます。小学校の教科書と比べて格段にレイアウトが難しく、漢字も多いことなど、知恵を絞り合いながら製作を進めています。

そのような中、前号会報で「拡大写本のつどい」の開催記事を見いたしました。私たちサークル会員もできるだけ多く出席したいと思っっています。そして、全国の先輩グループとの交流を通して、この機会が結成間もない私たちにとって、活動の進め方、技術向上のための研修、新入会員への指導など、今後の参考になることも多いことと期待しています。当日、皆さまとお会いできること、一同楽しみにしております。

3
昨今、手書きの拡大写本教科書の製作依頼が減少しているとのことですが、私たちはまさに、「拡大写本のつどい」のスローガンの通り「作れていますか? 利用者がのぞむ拡大教科書を」を念頭に、手書きの利点を確信しつつ、活動を深めていきたいと思えます。

昨年11月に実施しましたアンケートの集計結果が出ました。

お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

回答いただいたグループで教科書を製作しているのは49グループでした。

アンケート結果の詳細については5月の代表者会議の時にお渡しいたします。

発行件数	64
回答件数	51

1-1.23年度拡大教科書の依頼件数は前年度と比べてどう変化しましたか。

	減った	増えた	どちらともいえない
小学校	28	6	10
中学校	22	2	4
高等学校	8	3	7

1-2.「1-1」で減ったと答えられたグループにお尋ねします。その理由は何故だと考えられますか。(複数回答可。)

A. 標準教科書に移行した。	30
B. 他のグループに移行した。	4
C. 小・中・高等学校を卒業した。	10
D. 盲・支援学校に転校、点字に移行した。(拡大教科書を使わなくなった。)	8
E. その他	2

1-3.「1-1」で増えたと答えられたグループにお尋ねします。その理由は何故だと考えられますか。(複数回答可。)

A. 入学等で新規に拡大教科書を使うことになった。	3
B. 標準教科書から移行した。	5
C. 他のグループから移行した。	3
D. その他	8

2. 標準教科書の充実に伴い仕事量が減ったとしたら、あなたのグループの今後の活動はどう対応しますか。(複数回答可。)

A. グループを解散する。	3
B. 教科書以外の教材(副読本・参考書など)を製作する	30
C. 読み物・絵本などを製作する。	29
D. 大人対象のプライベートサービスをする。	23
E. 標準拡大教科書と同じサイズを作る。	6
F. 標準サイズよりも大きいサイズを希望する子どもの拡大教科書を作る。	32
G. その他	13

3-1.文科省との契約をしない拡大写本の活動の場合、かかる費用をどのように考えていますか。

A. 無料とする。	4
B. 有料とする。	33
C. その他	11

- 3 - 2. A. 無料と答えられたグループは、かかる費用はどのように捻出しますか、
 B. 有料と答えられたグループは、費用はどのくらい請求しますか、
 C. その他と答えられたグループは、その方法などをお書きください、
 (省略)

4. 新しい利用者の掘り起し(拡大写本・拡大教科書を知ってもらう)のために、
 どのような活動をしていますか、具体的に…

A. 講座の開催	1 6
B. イベントに参加	1 9
C. H P ・チラシの作成	1 5
D. その他	1 4

5. 市区町村の教育委員会とのやりとりの中で問題が起きましたか、
 その内容はどのように解決しましたか、
 また、教育委員会との連携がうまくいった事例があればお書きください、

A. 特になし。	3 4
B. 下記のような問題があり解決した。	1 3

(B 省略)

6. 今年度、または以前に、文科省との契約上で問題が起きましたか、
 その内容はどのように解決しましたか、

A. 特になし。	4 1
B. 下記のような問題があり解決した。	6

(B 省略)

- 7 - . デジタルデータについて、23年度のデジタルデータは取り寄せましたか、

A. 取り寄せた。	3 5
B. 取り寄せなかった。	1 5

- 7 - . データの種類はなんですか、

A. P D Fのみ。	8
B. テキストデータのみ。	2
C. P D Fとテキストの両方。	2 4

- 7 . 使用してみて使い勝手はどうか、具体的に書いてください、

A. 特に問題なし。	1 6
B. 下記のような問題がありました。	1 5

(B 省略)

- 8 - 1. 24年度拡大教科書の依頼が来ていると思いますが、23年度と比べて
 変化していますか、

	減った	増えた	どちらともいえない
小学校	3 3	7	6
中学校	2 3	5	4
高等学校	7	5	4

- 8 - 2. その理由は何故だと考えられますか、

A. 2 3年度の理由と同じ。	3 2
B. その他	1 0

9. 「全国拡大教材製作協議会」に望むことはなんですか、 (p、6 に記載)

9 「全国拡大教材製作協議会」に望むことはなんですか。
文部科学省・出版社に対して

・デジタルデータ(高校を含む)の早期入手。教科書の早期配本を要望して欲しい。

・文科省・教科書会社・利用者等への情報発信して欲しい。

・標準拡大教科書が製作されましたが、出版社に対してより良い教科書になる為の要望や意見を言って欲しい。

・高校の教科書無償化にもっと取り組んで欲しい。特に普通高校や実業高校は保護書の負担が大きい。

・副読本、一般書の著作権について取り組んで欲しい。

会員に対して

・情報の共有に努めて欲しい。

・多くの問題が山積しやすいボランティアが年に3回の会報、

2年に1度の総会だけでなく、「意見コーナー」のようなもの
があつて、会員がいつでも誰でも参加できるシステムを作って
欲しい。

・拡大教科書作成に伴う各種講習会を開催して欲しい。

・もっと幅広く拡大写本に取り組んで欲しい。

現在のグループ数 64グループ

退会 熊本NTT・OB拡大写本グループ

(23年11月)



二十三年度世話人会日程

・原則として隔月第4水曜日 午後一時半

(どなたでもお気軽にご参加下さい)

・場所 東京都障害者福祉会館

東京都港区芝 5・18・2

・交通 JR田町駅下車 徒歩3分

都営地下鉄三田線・浅草線

三田駅下車すぐ

代表者会議までの予定

臨時世話人会 4月11日/4月25日

「24年度代表者会議・拡大写本のつどい」は

5月20日、神奈川県横浜市で開催されます。

つどいは、神奈川県大会実行委員会で準備が進められています。

事前の資料として、本日、会報と一緒に送ります。

それぞれのグループで話し合いをしていただき、当日、一人

でも多くの会員の参加をお待ちしています。

《編集後記》

寒さがいつまでも続く中、24年度の教科書発送の日だけは迫
っています。会員の皆さまには慌ただしい日々をお過ごしのこと
と思えます。

ご協力いただきましたアンケートには、それぞれのグループ
が抱えている問題や協議会のあり方について、素直なご意見を
いただきました。解決に向けては難しい問題もありますが、世
話人一同、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思えます。ご
協力をよろしく願います。(I)